

# 根づき、広がる「文化の輪」

# しんわだい

## 出演・出品しよう、見に行こう

## 「楽しい街作りに向かって」

夏祭りとは並ぶ神和台の最大のイベントである第五回文化祭が、昨年十一月二十三日に講演会と発表会、二十五日に作品展が開催され、多数の来場者で賑わいました。自治会、ボランティアの皆さんのご協力により文化の輪（和）が広がりました。

### 第5回文化祭

文化祭では皆さんが日頃たしなんでおられる趣味や習い事の成果をお披露目していただきました。講演会のテーマは「ガーデニング」でしたが、健康のことと趣味のこと、こんな講演をして欲しいと言うものがあれば、ご要望下さい。

発表会は、音楽、踊り、パフォーマンス、何でも構いません、お子さんの習い事、日頃のカラオケの成果、会社の宴会芸等、楽しめたいですね。神和台以外



子どもたちの歌う顔がすがすがしい。今年もまた出てね

地域情報紙  
「しんわだい」  
通算第87号  
2008年2月25日

に習いに行かれておられる方も、その人達と一緒にいて結構です。皆さんの前で披露するのは恥ずかしいと思われ方も多いでしょうが、皆さんの拍手を頂いたら、皆様の良かっと思ふ事は間違いありません。それを見せたい我々も安らぎと癒しを頂ける場となっているのです。

作品展は、色んな趣味をお持ちで作品を家に飾っておられる方が、多数いらっしゃると思います。作品の出来不出来ではなく、そんな何でもない作品を持ち寄って頂きたいのです。

文化祭と言うとたいそうに響くかもしれませんが、自分ひとり楽しんでいたら、趣味も、だんだん上達し、誰かに見て頂きたい、聞いて貰いたいという方への「場」を提供するのが文化祭です。今年も十一月に開催予定です。今からだと十分に時間があります。是非皆さんも参加、出品をお考え願いませんか。また、ご近所や知り合いの方に、こんな

なことが出来ると言う方を、ご存知の方は、自治会までご推薦下さい。きつと出てよかったです、出して良かったと思われたいです。また、私みたいにも何と出来ないとおっしゃるかたは、是非見に来て下さい。きっと、感動があると思います。

茶コーナーも開店していただきます。作品についての語らいや、久しぶりに顔を合わせたい方とのオシャレに利用して下さい。神様の見守る平和な高台の神和台に文化の芽を絶やさない為にも皆さんの参加をお待ちしています。

最後に、会場の設営・運営をお手伝い頂いた方にはたいへん感謝しております。では次回は会場でお会い出来ることを楽しみにしております。

### 「暮らしを楽しむ ガーデニング」をテーマに、兵庫県立大学の能勢健吉教授をお招きして講演をして頂いた。

## 道路に面した場所 は「公共空間」



世界や近隣の街並みの写真や参考資料が並べられ、ガーデニングの楽しさ

社会的効用としては、共通の話題（ガーデニング）を共有することによって人間関係の円滑化と良好な地域社会の形成を生み、ここに住みたいと思う人が増え、「地域評価の高まり」、「資産価値の向上」という連鎖となるのが理解できた。「心地よい環境を造る」事が「住み心地よい街」となり、「地域の資産価値」も向上してゆく。

### 美・作品展に観る

文化祭の作品展を娘と共に見学させて頂きました。すべて素晴らしい作品ばかりでしたが、とりわけ私は「道」（泉佳恵様の作品）という書道のタイトルに心を惹かれました。

仏教でも、何事も一生懸命に道を極めようと努力することが悟りへの道であると言われてい

るそうです。全ての作品は、無心で一途に鍛錬を積まれたことの成果であり、感動を覚えるものばかりで、美の感覚を養い、一定の修養を積み、洗練されたルールに従って振舞うことではないのでしょうか。

## 道を極める姿に感動

種々の作品を創ることは、無数の状態、白紙の半紙やキャンパスの上に「自由に」表現すること、数学者でありエッセイストでもある藤原正彦氏は、文学、芸術や数学は日本人が特に得意と

願います。（二丁目 川勝）

第5回文化祭

心をなごます  
子どももの演技

発表会

発表会では、子ども達の演技が観客の心を和ませた。

一年生による斉唱「はじめの一步」。緊張しつつも、一人一人が大きな口を開けて懸命に歌う姿は、とても可愛らしく、心温まるものだった。

二年生の一輪車演技。一輪車を器用にスイスイと乗りこなす姿に会場は拍手喝采！何度も失敗を重ねなが

ら練習したに違いない。本当に素晴らしいの一言に尽きる演技だった。

空手古武道演技。子ども達のきびきびとした演技やかけ声に、背筋が伸びる思いだった。技を教えるだけでなく、逞しく健全な心を育てて下さっている場所がこの神和台にあるというのは心強い。

来年も、子ども達の生き生きとした姿が披露される場があるといいなあと思

う。

熟年組もがんばる

構成吟「川は流れる」、川をモチーフに、映し出される映像と出演者の詠が相まって、臨場感あふれるステージとなりました。

四人グループ「たんぼぼ



4人グループのオカリナで「たんぼぼ」



笑生会による大合唱



アンコールの繰り返されたフラダンス

次々と、軽やかで温かみのある音色が心に沁みだしたオカ

リナの演奏、それぞれの音色の違いも楽しめました。

平均年齢八十六歳の笑生会、大きな赤い花のコサ

ジュと蝶ネクタイで華やかに登場。いつしか客席も一つになって歌っていました。会場にマイクが回ると、迫力満点となり「青い山脈」など懐かしい歌から、大ヒット曲「千の風になって」まで、場内全員で大合唱、まるで神和台合唱団が誕生したようでした。

期待の拍手で迎えられたのが神和台フラガール、指先の動きまで気を配った、柔らかく艶やかなダンスに会場はすっかり魅了され、最後はアンコール。フラガール三組合同の総踊りで発表会を大いに盛りあげてくれました。(広報部)

二年生の一輪車演技



空手古武道演技



構成吟「川は流れる」



皆さんこんな技、芸、趣味が！

作展

四カ月かけた大輪の花

【レース編み】一本の糸と針でひと編み、ひと編み、ひと編み、ひと編み、約四ヶ月かけ

て編みました。その日の気分、体調によって編み目の大小があったり、やっとなり返した時に前段の模様と違が見つかったりと大変でしたが編み上がりは、やっとなりと自分なりに感動した作品です。(2丁目 長谷川)



大輪の花のようなレース編みと樹脂粘土の花

本物より美しく

【樹脂粘土の花】

三人を子育てする中で「私だけの時間があったらいいかしら」という思いで始めたのが、この樹脂粘土の花でした。

自然の樹木・草花を熟知した上で、本物より美しく



部屋いっぱいに力作ぞろい

作れる様に気配りをしています。今回出展した「南天」も何度も庭に足を運び、特に茎には苦心しました。まだまだ課題は有りますが、この花を趣味とする友と共に、これからも作り続けたいと思っています。(2丁目 坂本)

# 子ども会 クラブ便り 農園クラブ

## 「みんなで楽しく野菜作り」

### 八年間の努力の成果出る

農園クラブは開園以来約八年を経過しました。現在は八十二区画四十八名の会員です。当初は誰もが試行錯誤しながらの野菜作りでしたが、いまや皆さんも慣れてきて立派な菜園となりました。

季節の野菜を作って食べるだけでなく、手作



大収穫のかぶら、大根

ト、一夜にして強風で倒れてしまった。昨年植えていた所にエ

ンドウ豆を植え付けて、連作障害で全滅したことや、余った苗をあげた方は豊作となり、自分はお裾分けして頂く羽目になったなど、悲喜こもごものドラマです。世話人は十一名、ボランティア精神で手伝って頂いています。草刈りなどは、炎天下にもかかわらず一般の方も参加して、汗だくで畑の周辺を整備され有難いと感謝しています。

農園クラブは「皆で楽しく」をモットーに野菜作りを励みながらも、人の輪をつくりあげていっています。現在二、三区画の空きがあります。ご希望の方は世話人までお申し出ください。(農園クラブ)

## 神和台ネット

### ネットサロンへのお誘い

パソコンをやってみよう。ただどカタカナ用語が多くて難しいな。どと思っておられる方はおられません。そこで神和台ネットでは全くの初心者でも楽しく気軽に学べる「ネットサロン」を毎月第1日曜日に集会所の2階で開催しています。

### 気軽に楽しくパソコンの勉強も

ネットは「どなたでも気軽に楽しく茶話会的な雰囲気パソコンを学べる」です。文字入力、難しい、デジタルカメラを買ったけどパソコンに取り込めない、メールで写真を送りたい。そのような方々を対象として初心者質問コーナーも設けています。どなたも気軽に参加してパソコンを楽しみませんか。

### 学校で習ったばかり大豆のことわかった

(三年 健部優貴) ちょうど学校で大豆の勉強

## もの作りと食文化の学習にいい思い出が

### キツコーマン工場見てきたよ

### 醤油作りに挑戦



神和台子ども会の「キツコーマン醤油工場見

学バスツアー」が十一月十二日に行われました。今回のバスツアーは「し

以外にもお手伝いをお願いしなければならず不安もありましたが、予定通り計画

「ごとツアーリズム」という県内の小、中学生が、ものづくりや仕事について学習することにより、仕事のおもしろさや大切さを知るとともに、働くことに対する興味を深めることを目的としたものです。これを利用して、ツアーが実施され県からの助成を受けることも出来ました。総勢六十三名の子どもが参加となり、役員



作ったしょうゆをせんべいにぬって・・・

また日頃より地域の皆さまのあたたかい見守りと、廃品回収等での協力に感謝し、健やかな子ども達の成長を願い、今後も活動を続けて行きたいとおもいます。(二丁目内海)

もろみはおいしかった キュウリがあれば...

(六年 松田結女) 初めに工場の大きさにビックリしました。それから、しょうゆのできるまでの説明を聞き実際に自分達でしょうゆを作って、おせんべいにぬって食べました。途中で、もろみをなめさせてもきなので、きゅうりにつけてもつと食べたいと思いましたが、学校とは違った遠足で、いろんな学年の人とバスの中とかもとても楽しかったです。

## 神和台情報ファイル

平成一九年五月〜二〇年一月 (敬称略)

### 転入

- 石郷岡隆 (二丁目)
- 岩崎真治 (二丁目)
- 東生武司 (二丁目)
- 池海洋一 (二丁目)
- 福本修 (二丁目)
- 出村正裕 (二丁目)
- 藤村進 (二丁目)
- 花房雅晴 (二丁目)
- 吉武幸子 (二丁目)
- 秋山大輔 (二丁目)
- 佐木政恵 (二丁目)
- 前田和生 (二丁目)
- 大塚靖広 (二丁目)
- 大本和則 (二丁目)
- 櫻井徹 (二丁目)
- 長谷川敦紀 (二丁目)
- 新瀬美津夫 (二丁目)

### 転出

- 長谷川修 (二丁目)
- 桂木敏成 (二丁目)
- 須々木明 (二丁目)
- 吉田基 (三丁目)

### おめでた

- 赤木風輝ちゃん (三丁目)
- 大辻悠斗ちゃん (三丁目)

### おくやみ

- 西 薫 (三丁目) 80歳
- 小林雄輝 (二丁目) 28歳
- 宮脇恭子 (二丁目) 62歳
- 高木洋子 (三丁目) 73歳
- 熊谷澄子 (三丁目) 79歳
- 福山良久 (三丁目) 60歳
- 小松直 (三丁目) 64歳
- 車田由紀子 (三丁目) 63歳
- 谷中清子 (三丁目) 89歳
- 菅 哲男 (三丁目) 66歳
- 山口一幸 (二丁目) 70歳



(ねこも  
しゃくしも)

あまり品のいいことばではないが、江戸後期の俳人・一茶が詠んだ「生まれては死ぬるなりけりおしなべて釈迦も達磨も猫も杓子も」一からきっているという説が有力。世の中には、だれもかれもが無分別に同じ行動に加わり、とんでもない風潮を造り出すことがある。そんな現象を日頃から苦々(にがにが)しく思っている、何かの拍子について飛び出すのがこのせりふである。

もう死語になったかと思っ  
ていたら、なかなかどうして  
結構使われているらしい。こ

### 猫も杓子も

のことは、われわれの社会生活でこの種の事象が多いことを意味しているのではあるまいか。

▽

近ごろ叫ばれている「大学全入時代」もその一つの例だ。ある調査によると、高校生の90%が大学進学を希望しており、一方受け入れ側の大学の方はピンからキリまで全国各地で数えきれぬ程あり、全員収容してなお余りある状況という。つまり志望校さえ選ばなければ、どこかの大学に入れるという年配者には想像もつかぬ時代が目の前まで来ているというのだ。

### 考え直したい安易な進学志望

しく、「学力の低下、精神年齢の未熟さ」が目立つと識者は嘆く。一体こんな環境で四年間を過(こ)して、悔いを残すことにならないか? 他人事ながら気になる。

▽

出来る子をもてば一流大学に、出来の悪い子でも人並に「こんな親の気持ちもよく分かる。しかし、このあたりに「猫も杓子も」と思わせる要因がありそうだ。もともと子どもの進学は、本人の資質と意欲、それに家庭環境があつて決めるものだろう。苦学を承知の根性ある子なら話は別だが、この際昔から言われる「分(ぶん)を知る」ことの意味をあらためて噛みしめ、安易な進学志望だけは考え直して欲しいものである。

(3丁目 森下俊也)

### 水辺を活用したい

#### 福田川を見捨てないで



名谷小学校横の福田川。有意義に使おう

神和台に越して来て早くも三十年近くになりました、近くを流れる福田川、どんな川かなと思ひ、さっそく見にゆきました、その時の印象は、川と云うより大きな溝、とても足をつけられる状態ではないが、第一印象でした。しかし水量もそこそこありましたし、水質がよければ改良すればいい川になるとも思いました。

しょう。

た。川底は大方コンクリートで川の両サイドにはフェンスが張つてあり、住民の安全第一と、雨水の早期処理を主眼とした行政の都合のいい川にしてあったので

つています。

(1丁目 長谷川)

それからは、市長さんや区役所の水道行政の方に手紙を書いたり、市会議員の先生方にも話した事もありましたが、その当時と現在とはほとんど変わっていません。川沿いの遊歩道は莫大なお金をかけて、立派な遊歩道となつて

いますが、川そのものは変わらなず、現在にいたつてお

ります。

昔の福田川

はところどころに堰があつて、少し深い所もあつたりして魚もたくさん居たそうです。子ども

の頃はここで

よく泳いだよ、と聞かされました、その頃が本来の福田川だったのでしよう。

水辺は自然と触れ合える、とても魅力的なところですが、反面危険もありま

す、行政の考えもわかりませんが、川はさまざまな恩恵を人間に与えてくれる事は、確かな事だと思ひます。

神戸市には同じ様な条件の川が多数ありますが、住民と行政の創意と工夫と努力によって、素晴らしい変化をした川が有ります。灘区を中心を流れる都賀川です。この川は、以前はゴミの川そのものだったそうですが、約三十年ぐらい前から「都賀川を守る会」を住民が立ち上げ行政の協力を得て、現在は天然のアユが遡上する川になってい

ます。夏は臨時に堰を造つて、天然のプールとして、子ども達を泳がせています。福田川もそうなるって欲しいと思ひます。

そんな事を想っている間に、時は過ぎ去つてしまいました。都賀川が阪神大震災の時、たいへん役に立ちました。福田川の再生には遠大な努力が必要でしようが、これからの若い力に期待したいと思ひます。

とかく、都会の水辺は川にしる池にしる、危険と云うことから、立ち入り禁止が多く、有意義に水辺を利用出来ないのは残念な事です。福田川を見捨てられた川にしては、自然という財産を自ら捨てる様なもので

しょう。

(3丁目長井正)

### 心の詩を絵として表現

絵画サークル遊の会

「絵は人を造らないが、人を磨きます」をモットーに、口八丁、手八丁で絵筆を持ち、色を使い頭の体操をしながら活動して、ますます。絵にまつた縁がなかつた人でも「私でも描けるかしら?」「描いてみようかしら?」とその意欲ではじめて自分の絵が描けた時の喜びと自信は、すぐ我が家がギャラリーに! 努力が

実がつき始めました。緑の日よけから差し込む木漏れ日と吹く風が、肌に優しく、心地よい涼しさを与えて呉

れ、九月ともなれば、葉っぱも色づき秋の気配を感じることができました。

(2丁目 坂田)

実り、神戸市展に連続入選する人、カナダの自然展に入選する人と挑戦もしています。

昨年六月一日から十四日迄、市役所二階市民ギャラリーで作品展を開催出来

盛況でした。これからも自然や物の美しさ、旅の楽しさを心の詩として表現できる作品を生んでいきたいと思

### 市役所で開催した作品展



市役所二階市民ギャラリーで作品展を開催出来盛況でした。これからも自然や物の美しさ、旅の楽しさを心の詩として表現できる作品を生んでいきたいと思

(3丁目長井正)

### にがうりで緑の目よけ



年々暑さが厳しくなっています。昨年は四月の下旬に、二本の「にがうり」を

部屋の目よけに植えました。月一回の肥料と、毎朝たつぷりの水やりをして、成長を楽しんでいたのですが、六月初め頃になつたら、蔓はどんどんと伸び、花が咲き、一日が楽しみなほど